

平成 29 年度松本深志高等学校「生徒自ら行う学習環境整美事業」Ⅲ

事業名	大体育館入り口へ設置する すのこ板の作成
実施主体名	男子バスケットボール部
実施人数（生徒）	24名
〃（保護者）	0名
〃（職員等）	1名
実施日	平成 29 年 10 月 18 日 および 10 月 25 日
事業内容	すのこ板を作成し、大体育館入り口に設置する。

○事業を実施した結果、教育的効果（生徒の取組み等）の状況

①作業実施日・時間 平成 29 年 10 月 18 日（水）16：00～17：30

平成 29 年 10 月 25 日（水）16：00～17：30

②作業内容 すのこ板 の作成

採寸 木材の切断 材料の組み立て すのこ板の設置

③現場の写真、作業の様子 等

作業中の様子



設置後の状態



- ・安全に配慮して作業することができた。また、お互いに進捗状況等伝え合いながら協力して作業することができた。
- ・すのこ板設置後は、体育館に出入りする生徒が、入り口で滞ることもなくなり、人の流れもよくなった。また、体育館用シューズと上履きとの区別も明確になり、施設の維持管理面でもメリットがあったといえる。
- ・今回の作業は、木材の切断と、切断した木材をネジで固定するという比較的簡単な作業ではあったが、生徒にとってはあまり身近ではなく、やりにくい作業のようであった。こういう事業を通じて、学習やクラブだけでないことを体験させることができよかったですと感じている。

○事業を実施する上での問題点

- ・元々決まっている学校行事やクラブ活動の予定等が立て込んでおり、それらを避けて、作業計画を検討するが、作業時間等の確保が難しいと感じた。